

# むらの話題

地域的话题を  
お待ちしております  
■総務課・広報係  
☎029-885-0340 (内) 205



## 地域交流館みほふれ愛プラザ 竣工から1年が経ちました

3月26日に「地域交流館みほふれ愛プラザ」が竣工から1年を迎えることを記念して、ふれ愛プラザでは3月上旬から様々なイベントが開催されました。

まず、ふれ愛プラザ1階ロビーでは大々的に掲示物を展開。ふれ愛プラザの春夏秋冬の様子を記録した写真をはじめ、ふれ愛プラザの役割のひとつである「情報発信」にふさわしく、美浦村の特産品や美浦トレーニング・センターの「はしまり物語」等を紹介していました。

また、ふれ愛プラザを訪れてくれる人へ感謝の気持ちを込めてスタンプラリーを実施。スタンプが溜まった方にはみほーすミニタオルをプレゼントしました。

みほふれ愛プラザは利用してくださる方々と共に日々進化していきます。ぜひとも一度足をお運びください。

## 原子力災害広域避難協定 ひたちなか市と締結



3月29日土浦市役所において、美浦村を含む14市町村がひたちなか市と「原子力災害広域避難協定」を締結しました。

この協定は、日本原子力発電東海第二原発（東海村）で原子力災害が発生した際に避難所を設置してひたちなか市民を受け入れるという趣旨のものです。ひたちなか市民15万7千人のうち、美浦村では約3千人を受け入れることになっています。

## 村境にカントリーサイン設置



3月12日、国道125号線沿いに美浦村のカントリーサインが設置されました。

カントリーサインは、市町村等の境界に設置する自治体名等が表示された看板です。美浦村にはこれまで設置されておらず、住民や協議会等から設置に対する要望が寄せられたこと、みほーすという美浦村の新たなシンボルが登場したこと等から、この度の設置となりました。設置箇所は2か所で、稲敷市との境界と、阿見町との境界（バイパス側）に設置されています。

看板の上部には美浦村を訪れた方を歓迎する意味も込めて、みほーすの人形が設置されています。今後、美浦村のイメージアップにつながること等が期待されています。

## 陸平よはるかに 発行記念



平成7年から陸平貝塚の保存活用に係るボランティア活動をおこなっている『陸平をヨイシヨする会』は、会の発足20年を記念して活動の記録を「陸平よはるかに」と題して1冊の本にまとめました。

その発行を記念して、3月25日にピアノとケーナの音楽コンサートが文化財センターで開催されました。陸平をイメージしたオリジナルのピアノ曲「陸平ラプソディ」をはじめ、素敵な音色が陸平を包み込みました。



## 村内小中学校で入学式が執り行われました

4月9日、村内の3つの小学校で入学式が行われました。うららかな日の光が体育館に差し込み、春らしい穏やかな気候の中での開催となりました。

取材に訪れた木原小学校では、新入生は6年生に手を引かれて体育館に入場。在校生はニコニコと嬉しそうな笑顔で出迎えていました。来賓あいさつの「分からないことがあったら、優しいお兄さんお姉さんに聞いてくださいね」という言葉に応えるように、校歌斉唱では頼もしい歌声が響いていました。

また、10日には美浦中学校でも入学式が行われ、新入生を迎えての新たな生活がスタートしました。

### 【平成30年度入学者数】

・安中小学校	11名	・木原小学校	37名
・大谷小学校	59名	・美浦中学校	123名



## 美浦トレセン開設40周年記念 美浦ステークス開催！



3月25日、中山競馬場(千葉県船橋市)にて、美浦トレーニング・センターの開設40周年を記念する「美浦ステークス」が開催されました。

レースを制したのは萩原清厩舎所属のサーブルオール号。表彰式では美浦村ふるさと大使の阿井英二郎さんがプレゼンターを務め、記念品としてクリスタルトロフィと米1俵等が関係者に贈呈されました。

また、特設会場では村観光協会により美浦村産品の販売が行われ、みほ一歩が美浦村産品をPRし、好評を博していました。



**【優勝】** サーブルオール号  
馬主：(有)キャロットファーム  
調教師：萩原 清さん  
騎手：C・ルメールさん  
厩務員：桑原 貴幸さん

## 全国体操小学生大会で入賞！



3月26日から28日にかけて大洗町総合運動公園園体育館にて「第18回全国体操小学生大会」が行われ、茨城県の代表としてジョイナスみほ体操クラブから波多野優音さんと鈴木琳流さんが出場しました。2人とも県の代表として立派な態度で臨み、見事銀賞・銅賞に輝きました。

## 小学生が消防団の夜警を体験



3月22日と29日、大谷地区子ども会の希望者を対象に美浦村消防団第3分団2部協力のもと、夜警体験が行われました。

これは、第3分団2部が大谷地区子ども会の要請を受けて実施したもので、男子3名と女子5名が参加。参加者は実際に消防車に乗り込み、火災予防を呼びかけるため地域内を巡回しました。